

5 ペットが迷子にならないようにしましょう

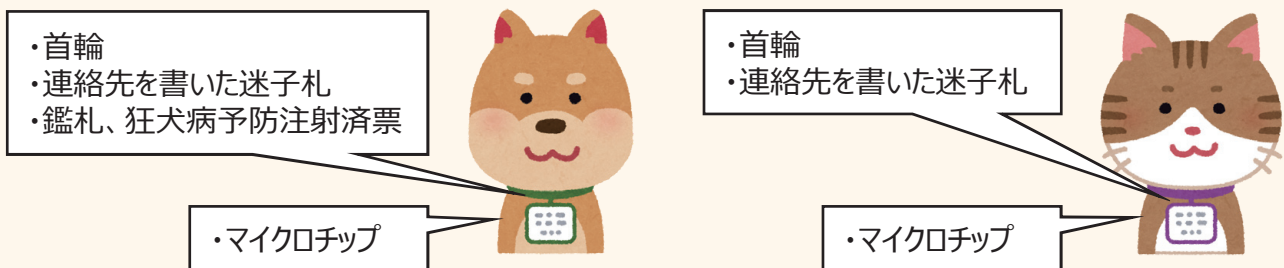
災害時には、ペットが逃げ出してしまう可能性があります。ペットが保護された際に、無事に飼い主のもとに戻れるよう、所有者を明らかにしておくことが大切です。

■ 首輪・迷子札

- ・首輪が付いていると、「飼い犬」「飼い猫」であることがひと目で分かります。
- ・首輪には、連絡先などを記入した迷子札を付けておきましょう。
- ・犬の場合は、鑑札と狂犬病予防注射済票も必ず装着しましょう。

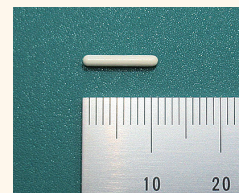
■ マイクロチップ^o

- ・動物の皮下に装着されるため、首輪よりも確実な所有者明示になります。
- ・マイクロチップを挿入した際は必ず、（公社）日本獣医師会などに情報を登録しましょう。



マイクロチップとは

マイクロチップは、長さ1 cm程度のカプセル状をしており、獣医師が専用の注射器で皮下に注入して装着するものです。



マイクロチップには15桁の番号が記録され、この番号に飼い主の氏名や連絡先などの情報を紐付けして、（公社）日本獣医師会などのデータベースに登録します。

万が一、ペットが逃げた場合でも、保健所などで保護され、マイクロチップの登録情報から飼い主が判明すれば、飼い主のもとに戻ることができます。

